

超・大河原邦男展

-レジェンド・オブ・メカデザイン-

ガンダム、ダグラム、ボトムズ... 全機 美術館に集結せよ。



1.「機動戦士ガンダム 哀・戦士編」B全判ポスター原画 1981 ©創通・サンライズ

2013（平成25）年3月23日（土） - 5月19日（日）

会場：兵庫県立美術館 3階 企画展示室

開館時間：午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）入場は閉館30分前まで

休館日：月曜日（ただし4月29日および5月6日は開館、4月30日（火）および5月7日（火）は休館）

観覧料金：

一般 1,300(1,100)円、大学生 900(700)円、高校生・65歳以上 650(550)円、中学生以下無料
（ ）内は、前売料金及び20名以上の団体割引料金（高校生・65歳以上は前売なし）

障害のある方とその介護の方（1名）は各当日料金の半額（65歳以上を除く）

前売券販売場所：チケットぴあ（Pコード：765-517）、ローソンチケット（Lコード：57586）等で販売。

前売券は、3月22日（金）まで販売します。会期中は前売券を販売しません。

12月8日（土）から3月10日（日）まで「フィンランドのくらしとデザイン」展との特別セット券（2,000円 ただし、大学生、高校生、65歳以上の方は通常料金のほうが安くなります。）をチケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、イープラス他プレイガイドにて販売。

主催：兵庫県立美術館、産経新聞社、神戸新聞社

後援：兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、関西テレビ放送、サンテレビジョン、ラジオ大阪、ラジオ関西、Kiss FM KOBE

協賛：株式会社大伸社

特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部

企画協力：株式会社サンライズ、株式会社タツノコプロ

制作協力：株式会社アドシステム

協力：パナソニック株式会社、ホテルオークラ神戸

開催趣旨

大河原邦男（おおかわら くにお 1947- ）は主にアニメーション作品に登場するロボットなどをデザインするメカニカルデザインという仕事を日本において確立した、生きた伝説とも呼ぶべき存在です。

「科学忍者隊ガッチャマン」（1972）、「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」（1977）、「機動戦士ガンダム」（1979）などのアニメ作品は今もたくさんの人々に親しまれていますが、その人気を大きく支えているのが大河原氏によるメカデザインです。

硬質でリアリティにあふれるものからユーモアにみちたものまで、多様な魅力をたたえる大河原デザイン。それは 20 世紀の視覚文化における最も重要なもののひとつであり、国境も世代も越えた影響力を保ちつづけています。

この展覧会では 7 つの章により、大河原デザインの秘密に迫ります。出品作品の中核をなすのが大河原氏直筆の設定資料。これまで門外不出とされてきたもので、そのほとんどが本邦初公開です。総出品作品数は 400 点以上。かつてない規模の、まさに「超」大河原邦男展です。

1章 「メカニカルデザイナー」誕生

大河原邦男氏がアニメ史上初めて、ロボットなどのメカを専門にデザインする「メカニックデザイナー（表記は当時のママ）」としてクレジットされた「科学忍者隊ガッチャマン」（1972）を中心に、それまでの日本のアニメ作品における代表的なメカデザインを紹介します。



2. 「科学忍者隊ガッチャマン」基本設定（決定稿コピー）：
アルケオ 1973 頃 ©タツノコプロ

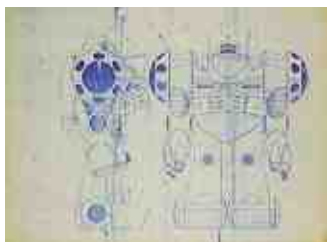


3. 「科学忍者隊ガッチャマン」基本設定（決定稿コピー）：
マイクロサターン 1973 頃 ©タツノコプロ

2章 ロボットアニメの黄金時代 メカニカルデザイナーとしての成長と躍進

1970 年代の後半はロボットアニメの黄金時代です。この章では大河原氏が初めて手がけた主役ロボット「ゴードム」、そして変形・合体を特徴とする巨大ロボットのデザインを紹介します。

【主な大河原邦男氏参加作品】「ゴワッパー-5 ゴードム」タツノコプロ（1976）、「無敵鋼人ダイターン 3」創通・サンライズ（1978）



4. 「ゴワッパー-5 ゴードム」基本設定（決定稿コピー）：ゴードム 1975 頃
©タツノコプロ



5. 「無敵鋼人ダイターン 3」基本設定（決定稿）：ダイターン・ハンマー ダイターン・ファン 1977 頃 ©創通・サンライズ



6. 「無敵ロボ トライダーG7」企画資料：
トライダーG7 パワーアップ・メカ
1980 頃 ©創通・サンライズ

3章 兵器としてのロボット 大河原デザインのひとつの到達点

1979年の「機動戦士ガンダム」に登場するロボットは、リアリティを感じさせる設定と大河原氏によるデザインにより日本のアニメに革新をもたらしました。本章では「ガンダム」に始まり、大河原氏のメカデザインのひとつの頂点といえる「装甲騎兵ボトムズ」(1983)へと至る「兵器としてのロボット」を紹介します。

【主な大河原邦男氏参加作品】「機動戦士ガンダム」創通・サンライズ(1979)、「太陽の牙ダグラム」サンライズ(1981)、「装甲騎兵ボトムズ」サンライズ(1983)



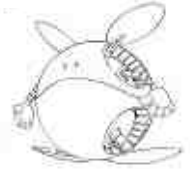
7. 「機動戦士ガンダム」基本設定：ガンダム内部図解 1979頃 ©創通・サンライズ



8. 「機動戦士ガンダム」最初期設定：ザク 1978 ©創通・サンライズ



9. 「装甲騎兵ボトムズ」基本設定(決定稿)：スコープドッグランドセル装備 1983 ©サンライズ



10. 「機動戦士ガンダム」基本設定(決定稿)：ハロ 1979頃(部分) ©創通・サンライズ

4章 カワイイ、メカ もう一人の大河原邦男

「カッコイイ」ロボットのデザインによって一世を風靡した大河原氏ですが、ユーモラスで親しみを感じさせるメカデザインの傑作も数多く生み出しています。

【主な大河原邦男氏参加作品】タイムボカンシリーズ(「ヤッターマン」(1977)以降のもの「ゼンダマン」(1979)「ヤットデタマン」(1981)) タツノコプロ、「超力ロボ ガラット」サンライズ(1984)、「魔動王グランゾート」サンライズ・R(1989)



11. 「超力ロボ ガラット」企画資料：シルバー 1984 ©サンライズ



12. 「魔動王グランゾート」企画資料：メガロックス 1988 ©サンライズ・R

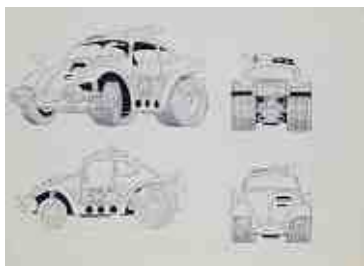


13. 「タイムボカンシリーズ ヤットデタマン」初期設定：タイムラクーダ 1980頃 ©タツノコプロ

5章 リアリズムの拡張 大河原ブランドの洗練と深化

「機動戦士ガンダム」にモビルスーツという設定が登場した後は、ロボットなどのメカの設定は多様なものとなり、アニメ作品の世界観を支える重要な要素となります。

【主な大河原邦男氏参加作品】「未来警察ウラシマン」タツノコプロ(1983)、「銀河漂流バイファム」サンライズ(1983)、「蒼き流星 SPT レイズナー」サンライズ(1985)、「機甲戦記ドラグナー」サンライズ(1987)



14. 「未来警察ウラシマン」基本設定(決定稿)：マグナビートル 1982頃 ©タツノコプロ



15. 「銀河漂流バイファム」初期設定：バイファム スリングバニアー 1983頃 ©サンライズ



16. 「蒼き流星 SPT レイズナー」初期設定：レイズナー 1985 ©サンライズ

6章 ロボット・ヒーローの復活 もういちど子供たちのために

1990年代に入ると、大河原氏は小さな子どもたちのための変形・合体を行う巨大ロボットのデザインを精力的に手がけるようになります。

【主な大河原邦男氏参加作品】「勇者エクスカイザー」サンライズ(1990)、「勇者王ガオガイガー」サンライズ(1997)



17.「勇者エクスカイザー」基本設定(決定稿): エクスカイザー 1989頃 ©サンライズ



18.「勇者特急マイトガイン」初期設定: マイトガイン 1992 ©サンライズ

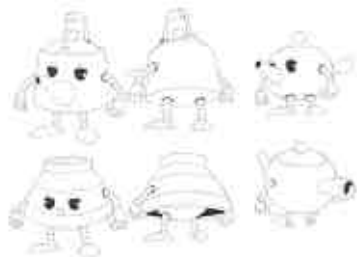


19.「勇者王ガオガイガー」基本設定(第3稿): ガオガイガー 1996頃 ©サンライズ

7章 大河原邦男の今

2000年代に入っても衰えを知らない大河原氏の仕事を現在進行系で紹介します。

【主な大河原邦男氏参加作品】「機動戦士ガンダム SEED」サンライズ(2002)、「一発必中!!デバンダー」タツノコプロ・デバンダー製作委員会 2012(2012)



20.「一発必中!!デバンダー」基本設定(決定稿): チビメカ・ヤカン・ドビン・茶ワン 2012 ©タツノコプロ・デバンダー製作委員会 2012



21.「一発必中!!デバンダー」基本設定(決定稿): タマゲターメカ 2012(部分) ©タツノコプロ・デバンダー製作委員会 2012



22.「機動戦士ガンダム SEED」基本設定(決定稿): フリーダムガンダム 2003 ©創通・サンライズ



23.「機動戦士ガンダム めぐりあい宇宙編」B2判(Bタイプ)ポスター原画 1982 ©創通・サンライズ



24.「機動戦士ガンダム 哀・戦士編」B2判(Bタイプ)ポスター原画 1981 ©創通・サンライズ



25.「太陽の牙ダグラム」ポスター原画 ©サンライズ

関連事業

「大河原邦男サイン会」

5月5日(日) 午前11時より 約2時間(午前10時より整理券配布)

ホワイエにて

- ・要整理券、要展覧会チケット(半券可)
- ・整理券の配布は本展覧会図録を持参された方、先着100名様に限ります。
- ・図録は整理券の受取時にもご購入いただけます。

記念対談1 「あこがれの巨大ロボット」

出演：大河原邦男氏+倉田光吾郎氏(鉄鋼アーティスト)

3月23日(土) 午後2時より 約90分(開場は午後1時30分)

ミュージアムホールにて

聴講無料(要整理券、要展覧会チケット(半券可))

定員250名(午前10時よりホワイエにて整理券配布)

記念対談2 「ドラマの中の大河原メカ」

出演：大河原邦男氏+高橋良輔氏(アニメーション監督)

5月5日(日) 午後3時より 約90分(開場は午後2時)

ミュージアムホールにて

聴講無料(要整理券、要展覧会チケット(半券可))

定員250名(午前10時よりホワイエにて整理券配布)

大人女子のための展覧会講座「メカにはまる男子の気持ち」

講師：岡山拓氏(アトラクター)

4月27日(土) 午後5時より 約90分(開場は午後4時30分)

レクチャールームにて

聴講無料(要展覧会チケット(半券可))

定員100名(女子以外も参加可能)

このイベントは兵庫県立美術館「芸術の館友の会」との共催です。

学芸員による解説会

4月6日(土)、5月11日(土) 午後4時より 約45分

レクチャールームにて 聴講無料

定員100名

ボランティアによる解説

毎週日曜日午前11時より 約15分

レクチャールームにて 聴講無料

定員100名

こどものイベント1 「達人に学ぶ!!プラモデル教室」

5月6日(月・振休) 午前10時30分より午後0時30分まで アトリエ2にて

プラモデルを作ったことのないあなたや、作ったけれどいまいち?だった君にぴったりのイベントです!(参加には申し込みが必要です)

対象 小・中学生とその保護者

参加費 1,050円

定員 30名

申し込み方法 往復はがきに 参加希望人数 参加者の名前 こどもの学校名・学年 代表者の名前・住所・電話番号 をご記入の上、「兵庫県立美術館 こどものイベント係」までお送りください。

締め切りは4月20日(消印有効)です。お問合せは078-262-0908(こどものイベント係)まで。

このイベントは株式会社ボックスの協力を得て開催します。

こどものイベント2 「ラジコン・ロボットで遊ぼう」

5月6日(月・振休) 午前11時より午後2時まで アトリエ1にて

ラジコンで動くロボットが大集合。ラジコンロボ博士と一緒に遊んでみよう! イベント時間中はいつでも好きな時に遊びに来てね。

参加無料(要観覧券チケット(半券可))

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

図版ご使用に際して、複数をご希望の場合、「機動戦士ガンダム」関連の図版が半数を超えないよう、また全てがポスター原画とならないようご留意いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1番1号

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】担当学芸員 小林 公ノ岡本弘毅

tel: 078-262-0909(学芸直通) fax: 078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】営業・広報グループ

tel: 078-262-0905(営業・広報直通) fax: 078-262-0903

超・大河原邦男展

営業・広報グループ宛 FAX (078) 262-0903

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)	番号	作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	「機動戦士ガンダム 哀・戦士編」B全判ポスター原画 1981 ©創通・サンライズ	14	「未来警察ウラシマン」基本設定(決定稿): マグナビートル 1982 頃 ©タツノコプロ
2	「科学忍者隊ガッチャマン」基本設定(決定稿コピー): アルケオ 1973 頃 ©タツノコプロ	15	「銀河漂流バイファム」初期設定: バイファム スリングパニアー 1983 頃 ©サンライズ
3	「科学忍者隊ガッチャマン」基本設定(決定稿コピー): ミクロサターン 1973 頃 ©タツノコプロ	16	「蒼き流星 SPT レイズナー」初期設定: レイズナー 1985 ©サンライズ
4	「ゴワッパー5ゴードム」基本設定(決定稿コピー): ゴードム 1975 頃 ©タツノコプロ	17	「勇者エクスカイザー」基本設定(決定稿): エクスカイザー 1989 頃 ©サンライズ
5	「無敵鋼人ダイターン3」基本設定(決定稿): ダイターン・ハンマー ダイターン・ファン 1977 頃 ©創通・サンライズ	18	「勇者特急マイトガイン」初期設定: マイトガイン 1992 ©サンライズ
6	「無敵ロボ トライダーG7」企画資料: トライダーG7 パワーアップ・メカ 1980 頃 ©創通・サンライズ	19	「勇者王ガオガイガー」基本設定(第3稿): ガオガイガー 1996 頃 ©サンライズ
7	「機動戦士ガンダム」基本設定: ガンダム内部図解 1979 頃 ©創通・サンライズ	20	「一発必中!!デバンダー」基本設定(決定稿): チビメカ・ヤカン・ドピン・茶ワン 2012 ©タツノコプロ・デバンダー製作委員会 2012
8	「機動戦士ガンダム」最初期設定: ザク 1978 ©創通・サンライズ	21	「一発必中!!デバンダー」基本設定(決定稿): タマゲターメカ 2012 ©タツノコプロ・デバンダー製作委員会 2012
9	「装甲騎兵ボトムズ」基本設定(決定稿): スコープドッグ ランドセル装備 1983 ©サンライズ	22	「機動戦士ガンダム SEED」基本設定(決定稿): フリーダムガンダム 2003 ©創通・サンライズ
10	「機動戦士ガンダム」基本設定(決定稿): ハロ 1979 頃 (部分) ©創通・サンライズ	23	「機動戦士ガンダム めぐりあい宇宙編」B2判(Bタイプ)ポスター原画 1982 ©創通・サンライズ
11	「超力ロボ ガラット」企画資料: シルバー 1984 ©サンライズ	24	「機動戦士ガンダム 哀・戦士編」B2判(Bタイプ)ポスター原画 1981 ©創通・サンライズ
12	「魔道王グランゾート」企画資料: メガロックス 1988 ©サンライズ・R	25	「太陽の牙ダグラム」ポスター原画 1983 頃 ©サンライズ
13	「タイムボカンシリーズ ヤットデタマン」初期設定: タイムラクーダ 1980 頃 ©タツノコプロ		

上記図版を媒体掲載される際には、上記作品名、制作年、コピーライト等を必ず記載してください。
プレスリリース6ページ目の、画像使用に際しての注意事項をご確認いただきますようお願い致します。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名分希望	
読者・視聴者プレゼント用展覧会ポスター(B2サイズ、1社につき5枚まで) なくなり次第終了いたします。 ポスターデザインは選べません。		名分希望 (1社につき5枚まで)	
メールマガジンをお持ちですか? はい・いいえ			
メールグリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか	可・不可		

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。
本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、上記住所、兵庫県立美術館「営業・広報グループ宛」にお送りくださいますようお願い申し上げます。
本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記広報グループまでご連絡ください。事前連絡のない取材・撮影はお断りいたします。